

ハンドボール

No. 45

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	成年男子
<input type="checkbox"/>	成年女子
<input type="checkbox"/>	少年男子
<input type="checkbox"/>	少年女子

試合 番号	お
----------	---

年月日	2018 年 9 月 13 日 (木)
大会名	第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018

公 式 記 録 用 紙

A 宮城県										和歌山県										B
都道府県 福井県					市町村 福井市					会場 福井県営体育館					回戦 1回戦					
前半	A 18	B 9	最終 結果	A 34	B 18	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7mTC	A	B						
7mT得点/総数	A 2/2		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 1/1		7mT得点/総数									
	1	2	3				1	2	3											
							28:24													

No.	宮城県	G	W	2'	2"	D	DR	No.	和歌山県	G	W	2'	2"	D	DR
1	西出 克巳							1	栗栖 康輔						
2	濱口 直大							2	古家 雅之	2					
3	遠山 賢治	2						3	本田 敦士	1		1			
4	佐藤 立盛	3	1	1				4	水井 大揮						
5	河内 喜則	2						5	石井 雄太	1	1				
6	川端 勝茂	1	1					6	大串 有高	3					
7	堤 由貴	5						7	永井 雄也	3					
8	玉井 宏章	7						8	白藤 喜彦	2					
9	吉田 翔太	7		1				9	榮 博文	5					
10	藤村 勇希	1						10	松井 雄紀		1	1			
11	榎木 武士	6						11	宮元 辰朗	1		1			
12	関口 勝志							12	前田 直樹						
役員A	中川 善雄							役員A	古家 雅之						
役員B	鈴木 浩幸							役員B	保坂 充紀						
役員C	河合 辰弥							役員C	湯川 将也						
役員D	根本 慎也							役員D	本田 敦士						

A	チーム役員A署名	B
特記事項		

レフェリー	國澤 隆	江田 優紀		
TD	高田 和英	山口 和博		
JHAオフィシャル				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハートボール No. 46

第73回国民体育大会 平成30年度「福井しあわせ元気」国体

試合結果・戦評報告書

競技日	H30. 9 / (13日(木)・14(金)・15(土)・16(日)・17(月))		試合番号	お
会場 コート	A	福井県営体育館	種別	成年・少年
	B	福井市体育館	性別	男子・女子
	C	北陸電力福井体育館フレアAコート	回戦	一回戦・二回戦
	D	北陸電力福井体育館フレアBコート		準々決勝・準決勝
	E	永平寺緑の村ふれあいセンター		3位決定戦・決勝
Aチーム名		Bチーム名		
宮城		和歌山		
得点合計	小計		小計	得点合計
34	18	前半	9	18
	16	後半	9	
		第1延長前半		
		第1延長後半		
		第2延長前半		
		第2延長後半		
	7mTC			

戦評

大会初日、成年男子1回戦第5試合目は、宮城県対和歌山県の好カード。開始予定より35分遅れで、宮城県のスローオフから始まった。試合開始後85秒は両チームGKのファインセーブもあり0対0が続いたが、和歌山県⑧白藤のゴールを皮切りに互いにゴールを重ねた。自力に勝る宮城県は堅守を速攻につなげ、⑦堤、⑨吉田が豪打炸裂し、4連取した。和歌山県も負けじと速いパス回しから⑨吉田の着実な得点で1点を返し、気を吐いた。その後、三重県④佐藤の速攻や⑨吉田のサイドシュート、また和歌山県⑦永井の7mT、⑥大串のサイドシュートなど、一進一退の競り合いが続き、互いに点数を重ねた結果、18対9、宮城県リードでハーフタイムに突入した。

後半、和歌山県のスローオフで開始後、和歌山県③本田の技ありのカットインシュートでゴールを決めた。負けじと宮城県も⑩樺木のポストシュートで反撃に出た。途中、宮城県はDF時に2人退場し、たまたまタイムアウトを取り、流れを断ち切ろうと試みた。それが奏功し、いったん和歌山県に傾きかけた流れは止まった。その後、宮城県も必死に食い下がり主導権を渡さず互いに譲らない試合展開はさらに続き、宮城県が④佐藤、⑨吉田のコンビネーションプレーなどで着実に点数を重ね、34-18和歌山県を突き放した。

記載者氏名	竹内 誠
送信日時	月 日 ()
送信者署名	